

吾妻山砂防通信



荒川遊砂地のガマ

第22号

土湯温泉町 荒川管理用通路の愛称決定！



荒川せせらぎロード“ゆ〜ろ”

10月12日(水)、土湯温泉町の荒川管理用通路(当出張所施工)の愛称を決定する審査会が土湯温泉町支所で開かれました。

審査の結果、愛称は荒川せせらぎロード“ゆ〜ろ”に決定しました。赤羽さん(神奈川県)と加賀美さん(福島市)の案をあわせたものです。荒川の清流と温泉地というイメージを残しながら、親しみやすく呼びやすい愛称となりました。県内外から187作品もの応募がありました。

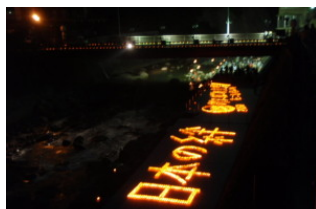
←土湯温泉観光協会では愛称名を入れた看板を通路入り口に設置しました。

さっそく“ゆ〜ろ”でイベント開催！ ～灯ろう2350個で復興文字～

10月30日(日)に土湯温泉観光協会主催により土湯温泉を舞台にしたラリー大会「土湯温泉・湯けむりクエスト」が開かれました。ラリー終了後には荒川せせらぎロード“ゆ〜ろ”にて表彰式・バーベキュー大会が開催されました。また、“ゆ〜ろ”には灯ろうが点灯され幻想的な“復興文字”が描出されました。日本の絆 がんばれ土湯！



“ゆ〜ろ”でバーベキュー大会



復興支援文字 日本の絆 がんばれ土湯



ペットボトルを利用した灯ろう

東日本大震災ふくしま復興への道講演会

がんばろう
ふくしま!

10月14日(金)、講演会『東日本大震災ふくしま復興への道』がふくしま荒川ミュージアム推進会議※主催によりMAXふくしま4階のA・O・Z(アオウゼ)で開催されました。

講演会は、荒川づくり協議会の熊谷さんが「環境・防災から地域を元気に」と題して被災地の神社を例に千年後まで伝えられる防災のあり方を提案しました。鈴木浩福島大学名誉教授による「東日本大震災復興への道」では本県の復興ビジョンなどを詳しく解説、今後の県がどのように復興、まちづくりを考えるべきなのかお話しいただきました。

同会場では同日から20日(木)まで、地震により被害を受けた道路の復旧状況や自衛隊の活動などのパネルも展示されました。



ふくしま復興への道パネル展の様子

※ ふくしま荒川ミュージアム推進会議・・・荒川とその沿川の歴史的な治水・砂防施設、風習・文化や豊かな自然などを“ミュージアム”として捉え、広く調査研究、教育等の事業を行い、地域の財産の保存と活用を図る市民、地域活動団体、地域企業、行政とが連携した組織です。2008(平成20)年設立。

荒川「暴れ川」の歴史

荒川流域は、「荒れた川」という名前のとおり古来より土石流や洪水が多く、幾度ももの災害を引き起こしてきました。今回はとくに被害が大きかった洪水・土石流と、洪水を防ぐために堤防を築いた時の記念の石碑（水天宮）を紹介いたします。

享保年間の荒川洪水

荒川から鳥川、大森にかけて一筋のように「河原」と名付けられた小文字の地名が実に16箇所も連なっており、かつてこの辺りが荒川の氾濫源であったことが分かります。特に江戸時代なかば、享保年間（1720年代）の洪水は佐原の太郎右衛門一揆でもわかるように被害は悲慘を極めました。このときの洪水供養塔が鳥川小学校南側の土手に建てられています。（写真③）

昭和13年土石流

土湯村（現在の土湯温泉町）で土石流が発生し、埋没浸水23戸、家屋流出5戸、温泉施設等の被害を受けました。（写真①）

水天宮

水天宮とは、「水難」「除災」の靈験を頼み、「水難供養」や「治水工事記念碑」として、堤防の工事後に今後洪水などの被害にあわないようにと、安全を祈願して建てられたものです。この水天宮は、明治には9基、大正には5基、昭和には3基作られ、昭和23年には治水碑という名前が変わっています。（写真②）

明治43年荒川洪水

四ヶ村堤防が金坪地内において決壊し、荒川の濁流は佐原地内に流れ込んで、そのまま本流となりました。その流路は、佐倉金坪から焼林、室石を流れ、水保地内の土船、庄野、桜本の数百町歩にわたる美田に流れ、途中から須川に合流しました。

平成10年荒川洪水

平成10年9月に発生した台風5号の影響で荒川右岸上名倉地区の堤防が決壊し、佐倉西工業団地等が浸水し被害を受けました。（写真④）



①昭和13年東鴉川の土石流



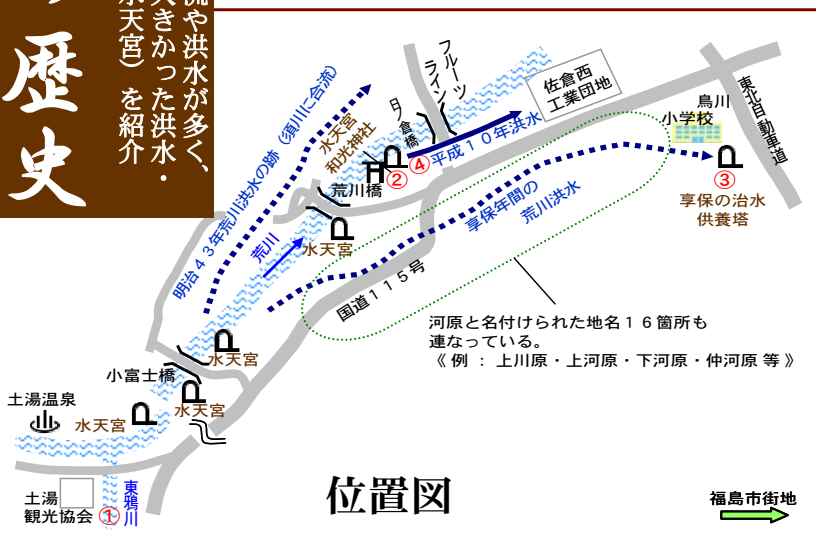
②水天宮（和光神社付近）



③洪水供養塔



④平成10年洪水



松川庁舎にて 東日本大震災パネル展示中



松川庁舎ロビーにて展示中です。
（開庁日の8:30~17:15 ~平成24年3月30日(予定)）
知られざる？国土交通省の奮闘を是非ご覧ください。

お知らせ

松川砂防学習室は12月28日（水）から
1月4日（水）までお休みします。

お問い合わせはこちら
（ご意見・ご感想・砂防に関すること）

国土交通省 福島河川国道事務所
吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156
福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14
TEL 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261
福島県福島市町庭坂字遠原三3-4
TEL 024-591-1207

H P <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

